

---

## あとがき

本書は、2003年版、2004年版に続く『基本編』の第3版目にあたります。2003年版の当初から、次の基本方針をもって本書を執筆してきました。

- ・主に新入生を想定した説明内容とする。
- ・東北大学内の利用環境に則したツールの紹介を行う。
- ・電子版も作成するが、学生が愛着を感じるような冊子体を作る。

2006年版は、大学生にとってより実際的な内容となるよう、「レポートを書く」と「サーチエンジンの使い方」に重点を置きました。従来、図書館の講習会では、個々のツールの説明に終始しがちでしたが、今回、情報探索の手始めから結果の活用までを体系的に盛り込んだことで、学術情報利用のための「基本編」マニュアルとして、より充実させることができたのではないかと思います。

本書はまた、本学の全学教育科目「大学生のための情報検索術」の教科書の役割も担っています。授業に携わることで、学生達が普段どのような探索をしているのかを実際に知ることができ、我々にとっても得る所の多い経験となっています。この授業は2006年度には3年目を迎えます。より多くの学生が、情報探索の基本的なスキルを身につけることができるよう、さらによりよい方法を探っていきたいと考えています。

附属図書館では、2005年には姉妹編である『自然科学編』を発行し、現在は『人文・社会科学編』にも取り組んでいるところです。授業を含むこれら一連の活動について、2005年度には国立大学図書館協会賞、東北大学総長教育賞を受賞するなど、学内外から嬉しい評価をいただきました。これらのことで満足せず、本書が学生のみなさんの傍らでいつも活躍する一冊となることができるよう、我々も日々研鑽を重ねていきたいと思っています。今後も皆さまのご意見・ご指摘を反映していきますので、気軽にご要望などをお寄せください。

最後になりますが、こうして無事出版できたのも関係職員の方のご理解とご支援のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

2006年3月吉日 図書館情報教育支援WG  
『情報探索の基礎知識. 基本編』編集代表 勝本 加奈子

---

## ■ 参考文献（著者の50音順）

- 1) 池田祥子. 『文科系学生のための文献調査ガイド』. 青弓社, 1995.
- 2) 海野敏, 影浦峯, 戸田慎一. 『学術情報と図書館』. (講座図書館の理論と実際, 9). 雄山閣, 1999.
- 3) 扇元敬司, 伊藤敏. 『学術情報の上手な仕上げ方』. 川島書店, 1994.
- 4) 大竹秀一. 『だれも教えなかったレポート・論文書き分け術』. エスシーシー, 2005.
- 5) 慶應義塾大学日吉メディアセンター編. 『情報リテラシー入門』. 慶應義塾大学出版会, 2002.
- 6) 斉藤孝, 佐野眞, 甲斐静子. 『文献を探すための本』. 日本エディタースクール出版部, 1989.
- 7) 情報科学技術協会. 『情報検索の基礎』. 第2版. 日外アソシエーツ, 1997.
- 8) 長澤雅男. 『情報と文献の探索』. 第2版. 丸善, 1987.
- 9) 仲本秀四郎. 『情報を考える』. (丸善ライブラリー, 073). 丸善, 1993.
- 10) 新潟大学附属図書館「情報検索とその活用」編集委員会編. 『情報図書館：大学で役立つ情報検索法』. 同委員会, 1998.

## ■ 執筆分担（所属は2006年3月現在）

※ 本来なら2003, 2004年版の執筆者も併記すべきところですが、紙面の都合上省略しました。

第1章 : 米澤誠（工学分館管理係）、勝本加奈子（農学分館図書係）

第2章 : 藤澤こず江（多元物質科学研究所図書室）

第3章 : 勝本加奈子

第4, 5章 : 永井伸（総務課情報企画係）

第6, 7章 : 落合浩平（医学分館整理係）

付録, 索引 : 永井伸、落合浩平

監修 : 米澤誠、佐藤初美（総務課情報企画係）

※ 本文中に掲載した画面例の著作権者からは、本書への掲載をご快諾いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。